

新春特集号 地域社会と共に歩む建設業界

若者よ、技術を身に着け技術者になるう!



第 39 号

発行日 平成 31 年 1 月 1 日
編集発行 富士宮建設業協同組合
事業広報委員会
印刷 フジ印刷(株)

信頼 協調 誠実

新年のご挨拶



富士宮建設業協同組合
理事長
小松建設
小松 實

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、健康にて新年を迎えられたことお慶び申し上げます。

昨年を思い起こしますと、異常気象が多かったと思えます。7月の集中豪雨は、西日本を中心に大規模な土砂災害の発生、9月の北海道地震では、山崩れ等で多くの家屋が倒壊するなど、大災害が起きました。毎年大きな災害がどこかで起こっており、私達も不安な毎日を送っております。特に静岡県においては、富士山の噴火です。そして、40数年前から叫ばれている、東海・東南海地震です。いつ起きても不思議ではありません。

災害が起った時私達建設業は、地域にとつてなくてはならない存在であり、その技術力の伝承が重要な課題であると思われまふ。しかし、残念ながら若年層(15歳~34歳)の労働力が不足しており大きな問題となっております。私達も数年前より「若者よ技術を身に着け、技術者になるう」を合言葉に、募集等を行ってきましたが、建設業界に応募はありませぬ。技術を身に着ければ1億円を超える工事も、自分で予算配分をし、発注者の期待通りに完成させる事は、何にも代えがたい達成感を覚えます。何はともあれ、自分達が先頭に立つて作った物は、何十年たっても、その現場を通る時、思いに残っております。

新年のご挨拶



新年のごあいさつ

富士宮市長 須藤 秀忠

発展を目指し協力していかねければなりません。私たち建設組合員も、建設業が社会性・公共性を伴った重要な基幹産業の1つであるという自覚を持ち、時には各社が厳しいライバルとなり、時には頼もしいパートナーとなつて、切磋琢磨することにより、地元の発展に寄与し、自らも着実な発展を遂げることが出来る様に各自努力して、お互いに発展できればと思っております。

感懐深い思いがいたします。仕事においての満足度は、必要とされているかという点にあると思えます。かつて「自衛隊は帰れ」「戦争反対」とシュプレヒコールを浴びていた自衛隊が、近年の災害の中での活躍もあり、その存在意義の高まりが、隊員の志気に多大なる影響を与えていると耳にします。また、「コンクリートから人へ」と建設業の存在すら否定的だった時代もありましたが、東北の大地震以後、世論は建設業への価値観を高めました。私自身も復興への礎を築くのは建設業であると自負しております。この意義ある職場のアピールを、若者や子供たちにしていく事は大事な事だと思えます。その為には、我々組合員も、まずは家族、身近な人々に役立っているという事を、伝えていく必要があると思えます。

建設業の給料も良くなりました。休日も多くなつてきております。そして、希望が持てる建設業界にもなつてきております。国でも65歳定年、70歳までの労働を推進しております。70歳でも働ける現場があれば、十分何ら変わりなく働けるのではないのでしょうか。富士宮建設業協同組合では、市と道路パトロール業務の契約を交わし、組合員が同乗して、危険箇所の改修に務めております。

組合訓である「信頼・協調・誠実」のもと、より良い富士宮市の実現と、市政

年頭のご挨拶



元環境大臣 衆議院議員 望月 義夫

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、決意も新たに、健やかに新年を迎えのことと心からお慶び申し上げます。富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、日頃より公共事業の円滑な推進をはじめ、本市の発展に多大なご協力をいただいております。誠にありがとうございます。

昨年、6月に大阪北部地震、7月には西日本を中心とした広い範囲での記録的な豪雨、9月には北海道胆振東部地震、更には強い勢力の台風第24号が日本列島を縦断し、各地に多くの被害をもたらしました。本市におきましても倒木等による停電が多数発生するなど、改めて自然の猛威を実感した1年でありました。私は常に市民の安全・安心を第1に迅速かつ的確な対応を心掛けておりますが、いざ災害が発生したときは、職員だけでは対応が難しい状況となるため、官民が一体となり、迅速な対応を図ることが大切であります。

そのような中、建設業協同組合の皆様におかれましては、災害時相互応援協定に基づき住民の安全・安心を確保するため、市と連携して迅速な復旧活動に当たっていただいております。市長として誠に心強

く、頼もしい限りであり、感謝に耐えない次第です。さて、本市の公共事業につきましては、世界遺産の構成資産である白糸ノ滝周辺等の整備事業をはじめとし、市営万野住宅建設、富士宮市役所庁舎や公共施設の長寿命化事業等を進めております。しかし、建設業界においては、高齢化の進行と技術系労働者不足等が深刻な問題となつております。市といたしましては、働く場所の確保や安定した雇用の創出に一層努めてまいりますので皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。本市では、第5次富士宮市総合計画に基づき、将来都市像にふさわしい魅力あるまちづくりを進めるため、「恵み豊かな未来づくり」、「いきいき元氣な未来づくり」、「誰もが輝く未来づくり」という3つの重点取組を柱として計画的に事業を行っております。

別委員長に再指名され、委員長職務はもちろんのこと、日本国と地元の様々な問題・課題に日々取り組まさせていただきます。昨年は、年始の大雪による災害から始まり、地震・台風・豪雨災害など、非常に多くの大型災害が日本列島を襲った年となりました。以前の数年に1度レベルの災害が、1年に何度も起こるといふ状態が、今後の日本及び世界を取巻く状況となっております。

日本はその自然的条件から災害が発生しやすい国土であり、地震・津波・火山噴火・風水害・雪害など、災害のための対策は広範にわたります。現在の災害対策基本法は、広域的な大規模災害に対応する体制を整備するため、昭和36年に制定さ

れたものですが、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震などを経て見直しが求められることとなり、私が環境大臣・原子力防災担当大臣在任時、復興の妨げとなる災害廃棄物の処理を迅速に行うよう、改正法を成立し、これらの運用が国民の備えとなつております。住民に最も近い行政が主体となつて応急救助を行い、最前線で被災者の声を聴き、臨機・的確に救助を遂行できるように、政令指定都市の災害対応権限を強化する改正法を成立させました。

熊本地震を経験に、十分な警戒が必要である旨を協議致しました。南海トラフ地震の防災対策についても、直近の熊本地震の実情から、応急対策・生活支援策の見直しを行いました。人命救助に重要な72時間を意識し、緊急輸送ルート・救助・医療・物資・燃料の各分野で目標行動の設定をポイントとして、特に被害が甚大な地域として静岡県も重点受援県としております。国民の皆様には、平時の備え(家庭における地震対策、避難場所の確認等)や発災時の対応(津波・噴火・火災からの避難、自助・共助等)についてご協力いただき、災害対策特別委員会は円滑かつ迅速な応急対策活動を実施するよう協議を重ねるとともに、引き続き現地の要望を受けすべく、被害状況調査・聴取を引き続き行っております。自然災害を無くす事はできませんが、防災・減災に官民ともに日々取り組むことにより、最小限の被災となるよう取組んで参ります。貴組合の皆様には、今後とも地域・行政との重要なパートナーとして、未来の富士宮市における安心安全な街づくりのため、より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、富士宮建設業協同組合様の限りないご発展と、組合員の皆様のご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

年頭のごあいさつ

富士宮市議会議長 手島 皓二



新年明けましておめでとう
ございます。

富士宮建設業協同組合の皆様には、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方には、市議会の活動及び市政各般にわたり、格別のご理解とご協力をいただき、とともに、社会基盤の整備や社会貢献活動などを通して地域社会の発展と市民福祉の向

上のために、大きな役割を果たしていただいておりますことに厚く感謝を申し上げます。

昨年、大阪府北部を震源とする地震、西日本における7月豪雨災害、各地で観測史上1位となる暴風を記録した台風第21号、そして最大震度7を記録した北海道胆振東部地震など各地で大きな災害が発生しました。

幸いにも富士宮市内においては、大きな災害はありませんでしたが、いづれどこで同様な災害が起こるかわからない状況にあると考えます。そのような災害に対し、市

民の命と財産を守るために防災及び減災の対策を怠らないようにしなければなりません。

現在富士宮市は、浅間大社を中心とした中心市街地の整備を進める一方、周辺地域の社会基盤整備事業の促進に積極的取り組み、今後さらに活気にあふれるまちなかに発展していくことが期待される

ところであります。さらに、近年の庁舎や学校などの公共建築物、道路や橋などの長寿命化のための事業、そしてこれまでにない大型台風などによる自然災害の報道を見聞きするたびに、あらためて私たちの暮らしを守り支えているインフラとその整備の大切さを強く実感しているところであります。

こうしたなか、道路や河川生産性を向上させ魅力ある建設現場を目指す「i-construction」など新しい改革を順次施行されるよう推進しております。働くひとの置かれた個々の事情に応じ多様な働き方を選択できる社会を実現し、働くひとがより良い将来の展望を持ち得るよう国民の尊い命と財産を守る社会資本の担い手としてその取り組みを着実に推進及び活力を回復させ、国民経済と地域社会に重要な役割を果たされております。まさに建設業のプロフェッショナルであり確固たる仕事への流儀を有するものであります。

現在、我が国は構造的な問題である少子高齢化に真正面から挑み、1億総活躍社会の実現に向けて政府を挙げて促進しております。そのなかで建設業として、処遇改善や長時間労働の是正など労働制度の抜本的な改革で労働者が働きやすい環境を整備するなどの「働き方改革」、また、建設現場における

をはじめとする公共事業とそれを担う地元の実情を熟知する建設業に従事する皆様の存在は大変大きく、地域社会にとって不可欠な存在となっております。

このようなことから、市議会といたしましても、貴組合からの要望等も踏まえ、効果的な事業をしつかりと実施することができるよう、市当局と一体となって努力をしております。本年も皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いたします。

結び、建設業界の発展と皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

としてインフラの老朽化対策において地域の実情を熟知した「地域密着型の担い手」として、また人口減少の時代にあっても活力を持った「地方創生の担い手」として建設業組合が果たすべき役割は、ますますその重要性を増しております。心のやりとりによる信頼関係を何より大切にされている富士宮建設業協同組合の皆様には、「信頼・協調・誠実」という組合訓のもと、建設業界の発展と社会資本の整備のため、多大なご尽力をいただいておりますことに、衷心より深い敬意と感謝の意を表します。

新年明けましておめでとうございます。
富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては決意も新たに、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より公共事業の円滑な推進をはじめ災害時の緊急工事など、富士宮市と市民の皆様にも多大なる貢献をいただいております。心より感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、1月の白根山の噴火に始まり各地の地震、相次ぐ台風上陸と自然災害の脅威にさらされ、静岡県も度重なる台風災害に見舞われました。こうした自然

災害による悲劇は毎年のように繰り返されるなか、建設業の皆様には迅速に復旧に向けライフラインを確保するなど国民の尊い命と財産を守る社会資本の担い手としてその取り組みを着実に推進及び活力を回復させ、国民経済と地域社会に重要な役割を果たされております。まさに建設業のプロフェッショナルであり確固たる仕事への流儀を有するものであります。

現在、我が国は構造的な問題である少子高齢化に真正面から挑み、1億総活躍社会の実現に向けて政府を挙げて促進しております。そのなかで建設業として、処遇改善や長時間労働の是正など労働制度の抜本的な改革で労働者が働きやすい環境を整備するなどの「働き方改革」、また、建設現場における

新年のごあいさつ

静岡県議会議員 木内 満



新年明けましておめでとうございます。
平成31年、平成最後の新しい年の始まりを心よりお慶び申し上げます。

富士宮建設業協同組合の会員各位におかれましては、平素より円滑且つ正確で高品質な公共工事の推進はもとより、災害時の迅速な緊急工事や様々なボランティア活動へのご協力を通じて、安心して暮らせる富士宮市の実現に多大なるご貢献を頂いておりますこと、県政に携わるものとして、また1人の市民として心より感謝申し上げます。

私は折しも静岡県の防災・減災を所管する静岡県議会危機管理審議会委員として、環境委員副委員長として、変化する災害を未然に防ぐ対策を講じるとともに、災害復旧支援に東奔西走する1年となりました。短期的には早期の避難体制の構築などのソフト対策の充実が必要ですが、長期的には災害の規模を抑

昨年はいくつかの災害に見舞われた1年となりました。ブロック塀の危険性が改めてフォーカスされることになった大阪北部地震。行政が発する避難勧告などの難しさが露呈した西日本豪雨災害。静岡県でのべ78万戸もの大規模な停電が発生した台風24号。山体崩壊と電力史に残るブラックアウト停電が発生した北海道胆振東部地震など、それぞれに大きなテーマを私たちに投げかける1年となりました。

私は折しも静岡県の防災・減災を所管する静岡県議会危機管理審議会委員として、環境委員副委員長として、変化する災害を未然に防ぐ対策を講じるとともに、災害復旧支援に東奔西走する1年となりました。短期的には早期の避難体制の構築などのソフト対策の充実が必要ですが、長期的には災害の規模を抑

えらため砂防施設や河川改修などのより効果的な実施などにも今まで以上に力を入れていくことを訴えて参りました。

交通インフラの整備では、一昨年末の静岡県富士山世界遺産センター開館以後急増した観光客に伴う渋滞解消のための道路整備の必要性を訴え続け、田中青木線の早期整備、南神田橋の拡幅などを実現させて参ります。また、中部横断自動車道の開通に伴う国道469号線の精進川工区以西の整備などの大きなテーマにも道をつけるべく決意を新たに取組んで参ります。

新年明けましておめでとうございます。
富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、新年を健やかに迎えられることと心からお慶び申し上げます。また、日頃より国土交通行政の推進にあたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、西日本を中心とした7月豪雨災害、9月に発生した北海道胆振東部地震等、各地で大きな被害が発生しました。これらの災害に対し、国土交通省ではTEICIFORCE、リエゾン、災害資機材の派遣

等を行い、地方自治体の災害対策に最大限の支援を行いました。富士砂防事務所からも、7月豪雨災害と北海道胆振東部地震の際にTEICIFORCEを派遣し、土砂災害危険箇所等の緊急点検等を実施しました。

また、1月に草津白根山、4月に霧島山が噴火する等火山活動の活発化に伴う被害も発生しています。火山噴火に伴う土砂災害は頻発には発生しないものの、一旦発生すれば社会的影響が非常に大きくなります。そこで、噴火の前兆が現れた時点で緊急対策を迅速に実施し、山麓住民等の生命・財産を守り、インフラ・ライフラインに対して噴火に伴う土砂移動現象による被害をできるだけ軽減・減災することをめざしております。

そのために、昨年は、具体的な対策をとりまとめた「富士山火山噴火緊急減災対策砂防計画」の策定に基き、平成30年4月より富士山火山砂防事業に着手し、鋭意実施しているところであります。

結び、貴協同組合のますますのご発展と会員の皆様のご健勝ご活躍を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所長



新年明けましておめでとうございます。
富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、新年を健やかに迎えられることと心からお慶び申し上げます。また、日頃より国土交通行政の推進にあたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、西日本を中心とした7月豪雨災害、9月に発生した北海道胆振東部地震等、各地で大きな被害が発生しました。これらの災害に対し、国土交通省ではTEICIFORCE、リエゾン、災害資機材の派遣

等を行い、地方自治体の災害対策に最大限の支援を行いました。富士砂防事務所からも、7月豪雨災害と北海道胆振東部地震の際にTEICIFORCEを派遣し、土砂災害危険箇所等の緊急点検等を実施しました。

また、1月に草津白根山、4月に霧島山が噴火する等火山活動の活発化に伴う被害も発生しています。火山噴火に伴う土砂災害は頻発には発生しないものの、一旦発生すれば社会的影響が非常に大きくなります。そこで、噴火の前兆が現れた時点で緊急対策を迅速に実施し、山麓住民等の生命・財産を守り、インフラ・ライフラインに対して噴火に伴う土砂移動現象による被害をできるだけ軽減・減災することをめざしております。

そのために、昨年は、具体的な対策をとりまとめた「富士山火山噴火緊急減災対策砂防計画」の策定に基き、平成30年4月より富士山火山砂防事業に着手し、鋭意実施しているところであります。

結び、貴協同組合のますますのご発展と会員の皆様のご健勝ご活躍を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

結び、貴協同組合のますますのご発展と会員の皆様のご健勝ご活躍を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

結び、貴協同組合のますますのご発展と会員の皆様のご健勝ご活躍を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

結び、貴協同組合のますますのご発展と会員の皆様のご健勝ご活躍を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

「環境」



土木・舗装委員会 委員長 佐野藤建設(株)

後藤 元光

当社では今、エコアクションのライセンスを取得するに当たって、キャッチフレーズとして「50年前の生態系に戻す為に貢献します」を環境理念に掲げて取り組んでおります。

最近、田畑・河川の現状は、農業や河川改修によって環境の悪化が進んでいますが、この度の豊洲問題にも同様な事が言えます。公害は目に見えないものと判断しがちですが、ちよっと視点を変えて、見直せば、環境破壊を防ぐ糸口はあり、社会全体で取り組んで改善出来ます。

エコアクション21は環境省が策定したものです。このライセンスを取得して思った事は、環境省はまだ「ガイドライン」を模索している途上であるという事です。

「どうしたら環境を良くする事が出来るか」を考え、持続可能な社会にする為に、活動することが社会全体の責務です。その中で建設業は特に貢献する割合が大きいので、努力していかなくてはなりません。

エコアクション21が達成

しておきます。文化は、発展し続けて行くと思うけれど、自然環境の併用と保護を両立していく事が、真の発展です。

最近、田畑・河川の現状は、農業や河川改修によって環境の悪化が進んでいますが、この度の豊洲問題にも同様な事が言えます。公害は目に見えないものと判断しがちですが、ちよっと視点を変えて、見直せば、環境破壊を防ぐ糸口はあり、社会全体で取り組んで改善出来ます。

エコアクション21は環境省が策定したものです。このライセンスを取得して思った事は、環境省はまだ「ガイドライン」を模索している途上であるという事です。

「どうしたら環境を良くする事が出来るか」を考え、持続可能な社会にする為に、活動することが社会全体の責務です。その中で建設業は特に貢献する割合が大きいので、努力していかなくてはなりません。

エコアクション21が達成

長い道のり



建築安全委員会 副委員長 宮鉄建設(株)

遠藤 秋芳

建築基準法によると1981年に基準法が強化され震度6〜7程度の地震でも倒壊・崩壊が起きない強度を求められている。建物が耐震基準を満たしているにも地震時に揺れて家具などが転倒して人が下敷きになることもある。そのため揺れを小さくするために免震・制振装置

が取り付けられる。免震は地下に設けて振動を建物に伝えにくくし、制振は地上階に設置して風や地震力を吸収する装置である。我々は耐震構造と聞くが筋かいを入れたり、耐震壁を設けたりして地震時の振動、揺れを建物全体で受け止めると理解している。その構造は鋼

分類することによって殆どが資源として再利用できるものであり、廃棄物を再生することによって限りなくゼロに減らすことが出来る。その中で「セメント生産」は、我が国から出る2800万トンの産業廃棄物を無くし、1番環境に寄与しているものです。「コンクリートから人」と言った政党がありました。あまにも単純な発言でした。

当社は発電所のゴミの処理をしています。出来る限り資源として分類し、残ったものは堆肥として農作物の肥料となり、今では田畑を肥やし、良い作物が出来ています。また当社ではこの度、事務所敷地内に、調整池(100m²・140m³)を作り、汚泥を溜め沈殿・流出し、環境に良い活動をしています。

昨年度、朝霧にバイオマス発電所を作りましたが、これらをもっと活かす為に、廃棄物を最後の堆肥、尿を肥料とすることが冒頭に述べたオートファジーといえます。

終わりに、この度地震が多々ありましたが、小学生が学校のブロック塀の下敷きになるという大惨事が起

きました。対策として、ただブロック塀を壊すのではなく、何故このようなことが起きたかの問題を解決することが大切です。

1番の問題は、鉄筋の溶接がされてなかった事、差し筋の長さが足りなかった事、モルタルの充填が不足していた事、そして専門家の重要な見落としは、土間コンクリートの後打ちによって、「テコの応用」が働き倒れたのです。建設業に携わる私としては、「施工者」と構造物の「許可」を出す人達の細心のチェックが必要だと思えます。ブロックの利便性やブロック製造会社のことを考えていますか？

そういつた中で私がこれからの見直し(壁芯が敷地面積等)、また構造計算はサイズ別に標準設計をつくって、研究開発することでも何回も使えるマニュアルを作ることが出来ます。これを、安藤忠雄氏に相談していきたいと思えます。それによって安全対策が容易になり、安くても良いものが出来、建設業にとって大切な事となります。

材や壁は目視できるが、免震制振オイルダンパーは、円筒形の形状であることはわかっても内部の性能はデータでしか理解できないところが難しくしている。恐らくむずかしい計算式や記号で埋め尽くされた文章で結末にOKと書かれた検査報告書であろうか？

高い安全性能が求められる大型ダンパー(筒形)は、日本では数社しか製造していないよう

あります。

新年のごあいさつ



総務金融委員会 副委員長 河原崎建設(株)

河原崎 利光

新年明けましておめでとうございます。

組合員並びに関係各位の皆様におかれましては、健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年自然災害の当たり年であったのではないのでしょうか。

2月の記録的な大雪により北陸地方の福井県国道8号線にて車両約1500台が60時間以上滞留し、全国で18名の尊い命が失われました。4月には大分県中津市の土砂災害で60名の方が犠牲になり、5月には、震度5強長野県北部地震、翌6月には、大阪北部地震により死者4名建物全壊9棟・半壊87棟・一部破壊27096棟・経済損失が1800億円という災害が起

きました。対策として、ただブロック塀を壊すのではなく、何故このようなことが起きたかの問題を解決することが大切です。

地盤が緩んだところで、台風7号の影響により西日本を中心に豪雨が降りし長雨が続き、これにより気象庁が「平成30年7月豪雨」と名付けました。死者224名・建物全壊6695棟・半壊10719棟・平成に入って最悪の死者行方不明者数になりました。国土交通省が各省庁からの被害額を集計した結果全体で約1兆940億円という過去最大の被害額になったようです。9月には、台風21号により関西空港が高潮で大規模冠水し、流されたタンカーが連絡橋に衝突し、西の玄関口が麻痺し近畿地方の経済は大打撃を受けました。また同月震度7の北海道胆振東部地震では、死者41名・建物全壊186棟・半壊539棟・一部破壊5034棟・一時北海道295万戸が大停電し道民の方々には不自由な生活が強いられました。今回の胆振東部地震は、道路や橋などの公共インフラの損傷が大きかったほか、全道停電により企業も大打撃を受け、被害総額が2089億円になると発表されています。主軸である観光産業でも予約キャンセルが相次ぎ観光客が激減してしまうなど、あらゆる分野に被害が及んでしまいました。

これは、私共組合員の優れた技術力を生かし、社会貢献していきたくと思えます。

組合員の皆様及び関係各位のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

防犯マップにより、土石流危険区域・急傾斜地崩壊危険区域・地すべり危険箇所・土砂災害警戒区域・その他液状化可能性マップ・富士宮市においては潤井川浸水想定区域等様々な危険箇所を想定したハザードマップが作成されており、災害を未然に防ぎ減災することが出来ると思えます。

東海地震に限らず、南海トラフ大規模地震発生の切迫性が高まっています。損害保険料率算出機構による2017年地震保険都道府県付帯率をみると、上位3県が宮城県・高知県・宮崎県、また最下位は長崎県・佐賀県・北海道の順になり、静岡県は22位となっています。昭和53年に施行された「大規模地震対策特別措置法」により、「地震防災対策強化地域」に指定され、防災に対して国家ぐるみの支援がされたなか防災の先頭を担っているという自負しております。この順位をみると少々寂しい気がしますが、気のゆるみではないでしょうか。

これからも、私共組合員の優れた技術力を生かし、社会貢献していきたくと思えます。

組合員の皆様及び関係各位のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

市への要望書提出

富士宮市長 須藤秀忠様
富士宮市議会議員 手島皓二様

要望書

拝啓

日頃より、富士宮市政発展のためへの多大なるご尽力に対し、敬意を表しますとともに、富士宮建設業協同組合に対しましては、ご指導、ご鞭撻を賜わり、また公共事業関係予算の確保につきましても、平素よりご尽力いただいていることに対し、衷心より厚く御礼申し上げる次第であります。

さて、我が国の経済は、雇用・所得環境の改善にみられるように好循環が広がりつつありますが、個人消費や民間投資は力強さを欠いており、デフレ脱却を実現する経済財政運営が引き続き求められるなか、中小企業を中心に人手不足が大変深刻化しています。

富士宮市におかれましては、富士山が世界遺産に登録され5年が経過し、この間、富士山世界遺産センターをはじめ、宿泊施設や飲食店が建設され、国内外から多くの方が富士宮市を訪れています。特に富士山世界遺産センターでは、7月の初めに年間目標の来館者30万人を達成したことで、富士宮市のにぎわいづくりが一步前進することにより、世界に誇れる品格のある文化都市として、大きな飛躍を遂げていくことが期待されます。

このような状況の中、我々組合員は社会にとっても企業にとってもなくてはならない存在であり、地域インフラの安定的な整備・維持管理、防災・減災の「地域の守り手」として、また地域の安全・安心を確保する「公的な任務の担い手」として課せられた社会的使命を今後も継続して果たしていかなければなりません。そのためには、地域建設業の健全で安定した経営基盤の構築が必要であり、また、将来の担い手の確保・育成が最大の課題であり、若者が将来を託すことが出来る「魅力ある建設業」として持続的な発展ができるよう、公共事業の安定的・継続的な確保と、より一層の予算の拡大をお願い申し上げます。

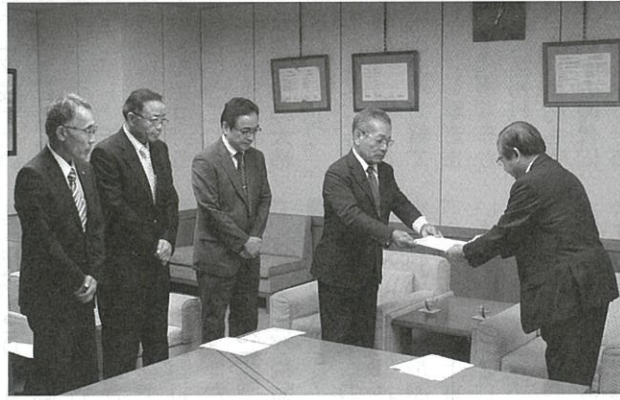
これからも我々組合員一同、日々研鑽を積みながら、「協力・感動・貢献」を合言葉に建設産業をアピールし、災害時には行政と共に迅速に対応できる、強固な体制づくりを目指してまいります。そのためにも、組合員の育成強化に更なるお力添えを賜りたく、下記事項についてご要望いたしますと共に、貴職の益々のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

敬具

記

要望事項1

人口減少や少子高齢化が加速することにより、良質な社会資本整備や災害対応など建設業の使命を引き続き果たしていくための最大の課題は、担



理事長、副理事長は、9月10日(月)、市役所を訪ね、担い手確保・育成等の取組、低入札価格調査制度の失格基準価格の見直し、大型工事の入札参加条件について土木Aランクの総合評定値800点以上による発注、小規模修繕業務委託の発注を組合員への指名競争入札など4項目についての要望書を、須藤市長及び手島市議会議員に提出いたしました。

小松理事長は、地方の建設産業は依然として、首都圏との地域格差が拡大する状況が続いていて困難な経営環境におかれています。信頼・協調・誠実の組合訓のもと、組合員が丸となりこの時期を乗り切る覚悟であり、経営基盤の強化を図り担い手確保・育成のために、市の理解と協力をお願いしました。10月17日(水)、市役所契約管理課長、工事検査課長、契約係長、検査係長が来館し、組合理事長、副理事長に対し、要望書の回答内容を説明していただきと同時に、意見交換をおこないました。

い手の確保であります。

建設業は、整備されたインフラの日常的なメンテナンスや、防災・減災対策、除雪などを通じて国民が安心してインフラ等を利用できる環境の維持に努めています。

また、毎年甚大な自然災害が発生している中で、その度に応急復旧やその後の復興工事など、国民生活の安心・安全や経済成長に貢献していくという建設業の担う役割は、将来にわたっても不変でなければなりません。その重要性については、東日本大震災や熊本地震などで再認識されました。

現在、建設業界が直面している担い手確保・育成等の問題については、行政、建設業界、そして学校が連携して取り組み、解決しなければならない重要な緊急課題であります。

このような状況の中、市において早急に基本方針を立ち上げていただき、担い手確保・育成事業に取り組んでいただきますよう、切にお願い申し上げます。

要望事項2

地域建設業は、社会資本整備の担い手であるとともに、毎年のように甚大な自然災害が発生し、その最前線で活動する安全・安心の守り手であり、その責任と役割を果たしていくためには、経営基盤を強化し経営の安定を図ることが何より重要であります。

本年4月1日より、調査基準価格に0.96の係数を乗じて算出していた最低制限価格については、係数を廃止することで、最低制限価格の見直しをしていただいた事に、組合員一同心より感謝申し上げます。

しかしながら、予定価格5,000万円以上の制限付入札並びに、総合評価競争入札における失格基準価格は、予定価格の67%から70%で推移しています。生産性人口が年々減少する中で、将来の担

い手を確保・育成するためにも、賃金の増加や働き方改革など労働環境の整備に努めていくためには、企業の適切な利潤の確保が必然であることから、失格基準価格が予定価格の80%以上になるように引き上げを要望いたします。

要望事項3

毎年のように要望させていただいていますが、現在、土木Aランクの総合評定値は最低が715点、最高は1,025点で36業者数であります。予定価格が5,000万円を超える大型工事におきましては技術的管理や安全管理等、下請業者を含めた高度な現場管理が必要であります。また、地元の対応等についても企業の信頼性が求められます。

そこで、大型工事発注時の入札参加資格に関しまして、工事の難易度や重要度に合わせ、受注者の企業規模、経営状況及び技術能力等がより高く評価されている、総合評定値800点以上の事業者による競争入札を要望いたします。

要望事項4

当組合は、平成12年に市と災害時の緊急協力協定を締結し、また平成26年度からは富士宮市道路点検維持補修業務委託を受注している組織として、地域の老朽化したインフラ施設や、脆弱な地形・地質に精通しているため、卓越した機動力、更にはコミュニケーション能力に長けているため、存在自体が地域住民の大きな安心材料であり、また迅速・的確に活動ができるため、小規模修繕業務委託を組合員への指名競争による入札を要望いたします。

平成30年9月10日

富士宮建設業協同組合
理事長 小松 實

女性部活動

会長 小松建設 小松みさを

平成最後の新春の幕開けを心からお慶び申し上げます。常日頃から女性部会の様々な活動に對しまして、組合員の皆様にご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

あと4ヶ月で「平成」という時代が幕を下ろすこととなります。勿論、カーテンコールはあり得ませんが、新しい年号まで待たなしたしの力ウントダウンの始まりです。5月には、10連休というこれまでのゴールデンウィークを遥かに上回る、日本国民の大移動が行われることでしょう。

激動と言われました「昭和」は、戦争を経験しつつも、復興発展してハブル期を経て「平成」へとバトンを繋ぎました。「平成」は災害が多かった時代だと良く言われますが、復興はもとより復旧も完了しないままに、次の時代にバトンを渡すことになりそうです。64年間もつた時代と31年間で半分以下の歳月なので復興にかかる時間的違いはあります。しかし、近代的な設備・機械や道具さらには技術も進歩はしているはずなのに、災害が次から次へと発生すること、なかなか追いつくことが出来ません。

法人税に上乗せするという形で徴収が行われています。この税金の使途は被災地に限定され、10・5兆円を捻出する予定です。復興特別法人税は、2012年度と2013年度の2年間の事業に減税をいつたん実施した上で、税額の10%が追加徴収され既に終了、住民税は、2014年から2023年まで10年間にわたり県民税・市民税に各々500円合計1000円が加算され

状況ではないかと特に懸念されます。いつの時代もそうですが、納税は教育・勤労と合わせて、国民の3大義務の1つですから、所得に応じて納税することは当たり前に感じています。ただし、その使い方にいては、多くの方が口にされるのが、「必要ならば増税も仕方ないけれど、その使い方の問題で、透明性が無いのが納税のいかなし」という点です。子や孫に大きな負債を背負わせたくなかないと思

て、2・1%が税額に上乗せ課税されています。さらに、銀行の預金利息への課税率も同様に、25年間は地方税5%を含んだトータル20%に対して0・315%上乗せされています。今年2019年が始まったばかりですので、まだこれから19年間も課税が続いていくことになり

ます。復興税の課税が終了した頃には、東北も完全なる復興を遂げていてほしいものです。そして、その姿を見届けたいなど密かな野望を抱いているところ

消費税が10%に上がる10月がとうとう顔を見せ始めました。主婦には頭の痛い事ですが、1番困るのは軽減税率の線引きがしっかりと確定されていない点です。外食産業に携わる方にとりましては、右往左往してしまっ

記載した工事銘板の設置、直轄現場で採用している「快適トイレ」、技術者・技能者の表彰制度などの施策の強化を行い担い手確保につなげたい意向です。建設業界に少しでも勢いが付くと期待したいものです。

原爆で苦しめられた昭和時代、原爆で苦しめられた平成時代、新しい時代にはそのよ

うなことが起こらない様、輝かしい未来を後世に残せる時であってほしいと思

2020年には「東京オリンピック」2025年には「大阪万博」の開催も決定していま

す。中国経済は五輪・万博開催後失速してしまいましたので、日本は二の舞とならないようにと、警鐘を鳴らしつつも、これから訪れる大イベントを楽しみにしております。今年に変化の年、元号が変わること新しいことにチャレンジをするのも良いかもしれ

東にあり「せせらぎ広場」の花壇に花の植替えを行いました。

これは、4月の女性部会において、富士山世界遺産センター付近の花の植替えを行ったらどうかの意見が出され、センター側に照会したところ、センター敷地内については設計者「坂茂」氏（建設業界で最も権威のある賞の1つプリツカー賞を受賞）の關係上、設計者の意向に背いて

植栽は難しいとの回答をいただきました。一時は頓挫した形になりましたが、センター周辺を歩いて回り、それに代わる場所が無いか模索して

しました。その結果、富士宮市で管理しています神田川観光駐車場周辺・ふれあい広場・せせらぎ広場と候補が上が

り、役員3名が実際の現場を訪ね市側と交渉したところ、タイミングよく観光課で管理しています「せせらぎ広場」の花壇について予算の減額により、これまでと同様の管理が困難な状態であるため、花植えについて前向きな回答をいただきました。6月に入り、6月中旬に業者がマリーゴールドなどの夏の花を植えますが、2ヶ月くらいしか持たないのでパンジー・ピオラなど冬の花を植えるまでの間につなぎで行っていただければという許可をいただきました。担当している業者の方が夏の花を撤去し更地にして下さったあとに、ナデシコ・ケイトウ・シニア（百日草）や緑が綺麗なオリヅル蘭など600



☆ボランティア活動
平成30年10月2日(火)
11月2日(金)
富士山世界遺産センター北

あなたを守る保険のパートナー
三井住友海上 HGA 代理店
有限会社 エージェントうさみ
エージェントうさみは、保険という仕事を通じ、人と人が助け合い、支え合う安全で安心な地域づくりを目指します。
〒418-0061 静岡県富士宮市北町2-21
TEL:0544-26-3565 FAX:0544-28-0656

日本工業規格表示認証工場
エーユー生コン株式会社
代表取締役 加藤 英雄
〒418-0112 静岡県富士宮市北山字貫間508番地
電話・出荷(0544)58-0707
事務所(0544)58-6482・事務所(0544)58-0709
試験室(0544)58-0708・FAX(0544)58-0632

県民の生命・財産を石材で守る
株式会社 後藤 代表 TEL.(0544)66-0165 FAX.(0544)67-0147
後藤砕石販売株式会社
砕石部 TEL.(0544)66-0501 FAX.(0544)67-0147
試験室 TEL.(0544)57-0353 FAX.(0544)29-3765
生コン部 TEL.(0544)67-0510 FAX.(0544)67-0560

日本工業規格認証取得工場
コンクリート用砕石及び砕砂
静甲工業(株)
本社/〒419-0315 静岡県富士宮市長貴699-1
TEL(0544)65-1000(代)
南部工場/〒409-2303 山梨県南巨摩郡南部町十日島2450
TEL(0556)67-3201(代)

太陽建機レンタル株式会社
富士宮支店
静岡県富士宮市西小泉町23-1
TEL:0544-26-5011
FAX:0544-28-0102

田口建材株式会社
代表取締役 田口 敏寛
事務所 静岡県富士宮市村山269-1
TEL(0544)23-6262~3
FAX(0544)27-1020

「未来を切り拓く技術」とともに「安全」と「安心」をお届けする
株式会社 富士宇部
代表取締役 杉村 禎一
〒421-3304 静岡県富士市木島258番地
(富士工場)TEL.0545-56-0030 Fax.0545-56-2801
(工事部)TEL.0545-56-0032 Fax.0545-56-2800
(本社)TEL.0545-56-0033 Fax.0545-56-2800

◎資源を大切にしよう
建設廃材中間処分(県)認可第2221002450号
再生砕石販売
富士宮建廃協同組合
静岡県富士宮市山宮961-10
事務所 TEL(0544)58-4785
プラント TEL(0544)58-4072

子供の頃のような、あふれる想像力で...
あなたのところをカタチにします。
MIND CREATION~こころをカタチに
前田道路株式会社 富士合材工場
〒417-0846 静岡県富士市今井434-1
TEL(0545)33-0627 FAX(0545)33-0630
合材・常温合材・路盤材・乳剤販売 AS塊・CO塊受入

重機土木工事一式・各種骨材販売
解体工事・建設廃材収集運搬
静岡県(般)―63―第23160号 (県)第9201045463号
株式会社 丸喜建材
富士宮市山宮961-10
TEL(0544)58-2154
FAX(0544)58-6385

重機土木工事一式・骨材販売 解体工事一式
株式会社 丸芳
代表取締役 佐野 裕亮
〒418-0047 静岡県富士宮市青木1186番地の1
TEL(0544)27-6048(代)
FAX(0544)27-8068

人と環境にやさしいものづくり
各種アスファルト合材製造・販売 常温合材
アスファルト乳剤 アスファルト廃材中間処理
株式会社 リサイクル芝川
〒419-0315 静岡県富士宮市長貴551-1
TEL(0544)65-0850・FAX(0544)65-1882

以上の苗を植えさせていただきます。50㎡と広い花壇でしたので、赤・青・黄・緑・桃の5色のカラー土のうを使用して中央に「富士山」を形作りました。さらには、雪になぞらえて白いカラーストーンを置き、周辺にはカラーストーンで円形に区切って、ケイトの赤色を中心に色とりどりの花を植えました。建設業色を少し出しつつ遊び心を持った、素敵なお花壇に仕上がったかなと思っております。

当日は、台風一過のためかとても暑い1日で、作業途中で給水タイムを設けたりしましたが、額から汗を流しながらの作業となりました。11名の参加をいただきましたが、お忙しい中でのご協力に心より感謝いたします。

11月2日には「百恵の郷」の花の植替え作業の後に、草取りを行いました。植えてから1か月が経ちますと、草が少し目立つようになり手を入れさせていただきました。次の日から富士宮のお祭りが開催されますので、その前に花壇が綺麗になり、市観光課の人達にも大変喜んでいただけました。(12頁紙面のカラー写真をご覧ください。)

12月後半には業者の方が冬花を植えますので、その前に土のうの解体やカラーストーンの除去などの作業を行いました。

「せせらぎ広場」の花の植替えは初めての試みでしたが、多くの会員皆様参加協力して下さったお蔭で、予定よりも早く作業が終了いたしました。皆様のアイデアそして愛情が詰まった花壇の解体は寂しさも有りますが、次の花へと移行して、これまで同様に来訪者を楽しませてくれるであろうと願っています。



「高原荘」と続き第5段となりましたが、市内9カ所の特徴を一巡するにはまだ4年掛かります。これまでに花の植替えを行いました施設の方々からは、または是非お願いしたいとの声も届いています。今後も継続して活動を行ってみたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

平成30年11月2日(金) 富士宮市大鹿窪にあります特別養護老人ホーム「百恵の郷」を訪ね、パンジーやヒオラ・ガーデンシクラメンなど花の苗と肥料などを組合で購入し植え付けました。

当日は、11名の参加者が施設内5カ所の花壇へ4班に分かれての作業になりましたが、皆様とても手際がよく、施設側の追加注文にも即座に対応していただきました。お天気も良く、作業終了時に「百恵の郷」様で用意下さった冷たいお茶が汗ばんだ体を鎮めてくれました。

終了後は「せせらぎ広場」の花壇の草取り作業のため、慌ただしく施設を後にし、次の現場へ向かいました。

日頃、お世話になっております市民の皆様への感謝の気持ちから始めたこの活動は、「かりんの家」「風の丘」「にしき」「高原荘」と続き第5段となりましたが、市内9カ所の特徴を一巡するにはまだ4年掛かります。これまでに花の植替えを行いました施設の方々からは、または是非お願いしたいとの声も届いています。今後も継続して活動を行ってみたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

平成30年7月9日(月) 11月21日(水) 県道414号線沿い富士宮北高付近の「植えます」事業の花苗(夏花・冬花)の植替え作業に、それぞれ参加協力いたしました。これまでは、腐葉土と肥料を混ぜての地ならしからの作業でしたが、今回は既にそこまでの工程が完了しており、花を植える作業のお手伝いをいたしました。

夏花の植替えには、会員10名の皆様の参加協力を得て、例年の様に、サルビア312本・ベゴニア192本・ポーチユラカ432本を植えました。支援学校の生徒さん13名と共に心地よい汗を流しました。

冬花の植替えも夏同様に行われ、予定されたプランター11カ所へ、ヒオラ216本・パンジー720本の苗を植替えました。11月下旬としては珍しく暖かな小春日和の

中、花壇の土が柔らかい状態(前日に2年生の生徒さんが土をならしてくれたそうです)でしたので、あっという間に作業が終了いたしました。会員10名の参加をいただき、生徒さん16名と楽しいひと時を過ごすことが出来ました。ご協力ありがとうございました。

今後花の植替えのボランティア活動は、①11月に行う

平成30年12月4日(火) 組合員の皆さまからお寄せいただきましたタオル350枚を富士宮市に寄贈致しました。当日は、小田剛男保健福祉部長に富士宮市における福祉の現状についての話を伺いましたが、少子高齢化の波は富士宮市にも押し寄せてきており、大変に厳しい状況の様です。

が、この活動を始めた当時の会員の想いを、これからも大切に引き継いでいけたらなと思います。今回ご協力いただいた皆様には心から感謝を申し上げますと共に、これからも引き続き活動を行っていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願ひ致します。

平成30年12月4日(火) 組合員の皆さまからお寄せいただきましたタオル350枚を富士宮市に寄贈致しました。当日は、小田剛男保健福祉部長に富士宮市における福祉の現状についての話を伺いましたが、少子高齢化の波は富士宮市にも押し寄せてきており、大変に厳しい状況の様です。

平成30年12月4日(火) 組合員の皆さまからお寄せいただきましたタオル350枚を富士宮市に寄贈致しました。当日は、小田剛男保健福祉部長に富士宮市における福祉の現状についての話を伺いましたが、少子高齢化の波は富士宮市にも押し寄せてきており、大変に厳しい状況の様です。

平成30年12月4日(火) 組合員の皆さまからお寄せいただきましたタオル350枚を富士宮市に寄贈致しました。当日は、小田剛男保健福祉部長に富士宮市における福祉の現状についての話を伺いましたが、少子高齢化の波は富士宮市にも押し寄せてきており、大変に厳しい状況の様です。



平成30年12月4日(火) 組合員の皆さまからお寄せいただきましたタオル350枚を富士宮市に寄贈致しました。当日は、小田剛男保健福祉部長に富士宮市における福祉の現状についての話を伺いましたが、少子高齢化の波は富士宮市にも押し寄せてきており、大変に厳しい状況の様です。

平成30年12月4日(火) 組合員の皆さまからお寄せいただきましたタオル350枚を富士宮市に寄贈致しました。当日は、小田剛男保健福祉部長に富士宮市における福祉の現状についての話を伺いましたが、少子高齢化の波は富士宮市にも押し寄せてきており、大変に厳しい状況の様です。

平成30年12月4日(火) 組合員の皆さまからお寄せいただきましたタオル350枚を富士宮市に寄贈致しました。当日は、小田剛男保健福祉部長に富士宮市における福祉の現状についての話を伺いましたが、少子高齢化の波は富士宮市にも押し寄せてきており、大変に厳しい状況の様です。

平成30年12月4日(火) 組合員の皆さまからお寄せいただきましたタオル350枚を富士宮市に寄贈致しました。当日は、小田剛男保健福祉部長に富士宮市における福祉の現状についての話を伺いましたが、少子高齢化の波は富士宮市にも押し寄せてきており、大変に厳しい状況の様です。

平成30年12月4日(火) 組合員の皆さまからお寄せいただきましたタオル350枚を富士宮市に寄贈致しました。当日は、小田剛男保健福祉部長に富士宮市における福祉の現状についての話を伺いましたが、少子高齢化の波は富士宮市にも押し寄せてきており、大変に厳しい状況の様です。



ホームページ
富士宮建設業協同組合
<https://fujinomiya-kensetsu.com/>
 E-mail: miya-ken.s48@leaf.ocn.ne.jp
 皆様からのアクセスをお待ちしております
 〒418-0005 富士宮市宮原470-5
 TEL.0544-27-5526

組合員を募集しています!!
 入会希望の方は左記迄。

watanabe
株式会社 渡邊
 県知事許可(般-23)第21303号

代表取締役 渡邊 智司
 〒418-0022 静岡県富士宮市小泉1853-16
 TEL (0544) 24-5123 ・ FAX (0544) 23-3715
<http://www.pro-watanabe.co.jp>

優良工事表彰者

国、静岡県、富士宮市等の公共団体より、工事の品質・出来形・安全管理、創意工夫及び地域貢献度等に対し、成績優秀で、他の模範となる工事として2018年度に表彰された皆様を紹介します。

国土交通省中部地方整備局 社会貢献事務所長表彰

平成28年度139号富士宮道路交通安全整備工事

(株)大石組

代表取締役	清	哲也
現場代理人	渡邊	貴也
主任技術者	渡邊	貴也



関東森林管理局長表彰

南部本谷地区復旧治山工事(H27ゼロ国)

佐野藤建設(株)

代表取締役	後藤	元光
現場代理人	宮崎	旭洋
主任技術者	宮崎	崇



拓進建設(株)

公益財団法人静岡県山林協会長表彰

平成28年度集落間林道整備天子ヶ岳線工事

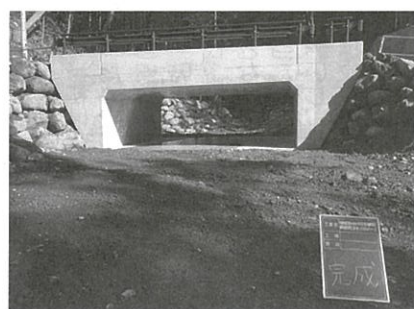
代表取締役	佐野	裕康
現場代理人	清水	孝
主任技術者	清水	孝



静岡県交通基盤部 優良技術者表彰

平成29年度芝川支川袖野布沢川
県単通常砂防工事
(ボックスカルバート工)

代表取締役	佐野	裕康
現場代理人	佐野	晴久
主任技術者	佐野	晴久

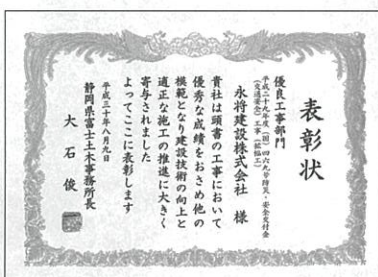


富士土木事務所 優良工事表彰

平成29年度(国)469号防災・安全交付金(交通安全)
工事(拡幅工)

永将建設(株)

代表取締役	永田	正二
現場代理人	上原	秀隆
主任技術者	上原	秀隆

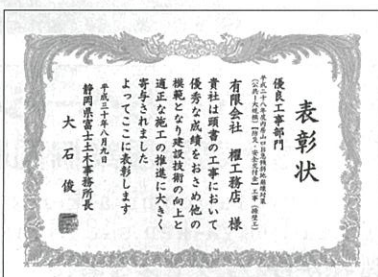


富士土木事務所 優良工事表彰

平成28年度内房山口B急傾斜地崩壊対策(公共一大規模)
【防災・安全交付金】工事(擁壁工)

(有)権工務店

代表取締役	佐野	郁男
現場代理人	望月	文貴
主任技術者	望月	文貴

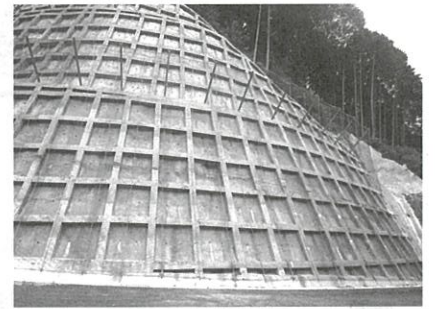


富士土木事務所 優良工事表彰

平成28年度(主)清水富士宮線中山間地振興対策道路整備事業工事(道路拡幅工・里沢工区その2)

地成建設(株)

代表取締役 望月 敏雄
現場代理人 望月 一美
主任技術者 望月 一美

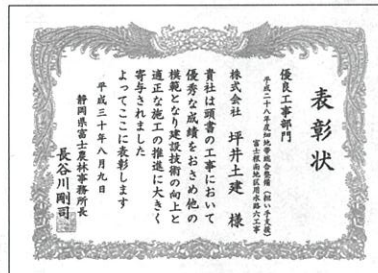


(株)坪井土建

富士土木事務所 地域貢献部門表彰

平成29年度(主)清水富士宮線中山間地振興対策道路整備事業工事(道路拡幅工・瓜島工区その2)

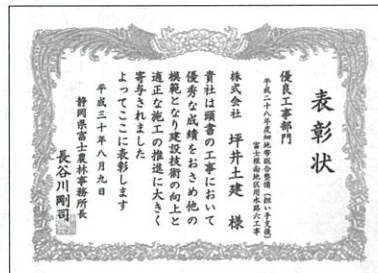
代表取締役 坪井 光雄
現場代理人 長田 誠
主任技術者 長田 誠



富士農林事務所 優良工事表彰

平成28年度畑地帯総合整備(担い手支援)富士根南地区用水路六工事

代表取締役 坪井 光雄
現場代理人 佐野 伸次
主任技術者 佐野 伸次



富士宮市建設工事表彰 優秀賞

平成29年度社会資本整備総合交付金事業1級市道立石長瀬小坂線川嶋橋補修工事

代表取締役 坪井 光雄
現場代理人 望月 昇
主任技術者 稲葉 英治



富士宮市建設工事表彰 優良賞

平成29年度1級市道大宮富士線舗装工事

(株)丸進建設

代表取締役 塩川 進
現場代理人 角田 道彦
主任技術者 角田 道彦

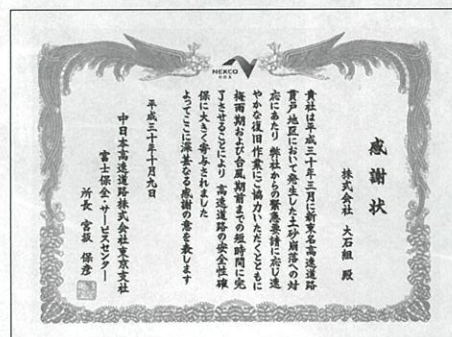
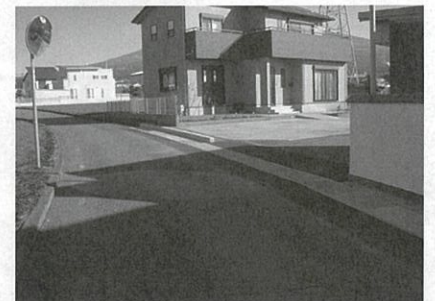


富士宮市建設工事表彰 優良賞

平成29年度一般市道外神38号線側溝整備工事

(有)坪井組

代表取締役 坪井 孝文
現場代理人 佐野 徹
主任技術者 坪井 孝文



☆中日本高速道路(株)東京支社
富士保全・サービスセンター
(株)大石組

平成30年3月、新東名高速道路貫戸地区において発生しました土砂崩落への対応にあたり、緊急要請に対し速やかな復旧作業を行うと共に梅雨期および台風期前までの短時間に完了させることで、高速道路安全性確保に寄与された事が評価され感謝状をいただきました。

感謝状の受領



第54回清掃運動

平成30年4月14日(土) 18日(水)

毎年「環境美化の日」(4月の第3日曜日)を中心に市内各地域で行われる清掃運動が14日〜18日まで5日間市内全域で展開されました。

あいにくの天候となった15日の清掃運動には、市内113区2万8,835世帯から3万1,416人の市民が参加し、地域の河川や道路の清掃に汗を流しました。

私達の組合からも16日〜18日までの期間、皆様の協力により26台のダンブが出動し、市中からた土砂処理が32・95トン(43台)、可燃物・不燃物3・2トン(33台)、不法投棄ゴミ2・46トン(28台)の搬出を行いました。

組合員の皆様にはご協力をいただき、大変ありがとうございました。



道路愛護

平成30年8月7日(火)

8月は、道路愛護月間となっており、毎年この行事に参加しています。

昨年同様に外神東公園付近の1級市道押出長穴線・粟倉外神線沿いの枝の伐採、路肩の草刈り清掃等を市管理課、本組合員及び近隣事業所が参加し、実施いたしました。

本組合員からは10名が参加し、草刈り等に汗を流しました。参加された組合員の皆様、暑い中お疲れ様でした。



機密文書処理リサイクルシステムの活用

平成30年7月1日

平成30年7月1日にコアレックス信栄株式会社(代表取締役 黒崎 暁)と「廃棄機密書類の委託業務契約」を締結し、12社の組合員さんがリサイクルシステムの活用をスタートさせました。第1回目が7月6日、第2回目が9月14日、第3回目が12月17日に搬出し、合計218箱(3・54トン)の機密文書処理を完了しました。

施いたしました。これからも、機密文書の適切な処理とリサイクル活動を推進してまいります。



ボウリング大会

平成30年8月10日(金)

「第20回ボウリング大会」を江戸屋ホウルで開催しました。総勢56名(14チーム)が参加し、熱戦が繰り広げられ、親睦を図りました。優勝チームは、(株)井出恒組チームでした。今回からこれまで優勝チームに送られていたカップを新調しトロフィーに変更しました。

次回も、大勢の組合員さんが参加されることを、楽しみにしています。(今回も、プービー! メーカー賞を設けました)



- チーム別成績
 - 団体優勝 (株)井出恒組 1,244点
 - 団体2位 光建業(株)A 1,174点
 - 団体3位 (株)三与建設 1,105点
- 個人成績
 - ハイゲーム賞(ハンディ込み) (株)大石組 近藤恒久 360点



市防災訓練

平成30年9月1日(土)

富士宮市総合防災訓練に参加し、防災無線を使用した情報伝達訓練及び富士宮建設業協同組合災害対策協力本部組織表第1班〜第7



班の班長・副班長により、市から被害調査の要請依頼があったことを想定し、各班の地域における土石流危険区域・急傾斜地崩壊区域等のパトロールを実施いたしました。

ゴルフコンペ開催

平成30年7月31日(火)

組合員の親睦を深めるためゴルフコンペを、朝霧ジャンボリーゴルフクラブにおいて7名の参加により開催しました。



優勝：(株)小松建設 小松 實
準優勝：(株)大石組 清 哲也

平成30年10月25日(木)

今年度2回目の親睦ゴルフコンペを、朝霧ジャンボリーゴルフクラブにおいて6名の参加により開催いたしました。

優勝：宮鉄建設(株) 遠藤 壽男
準優勝：(株)小松建設 小松 實



道路のパトロール業務

平成30年9月10日(月) 10月2日(火)

前回に引き続き、平成30年度から平成32年度までの3年間、富士宮市道路点検維持補修業務委託を市と契約し、市民の皆様の大変な道路を安心・安全のために日々パトロールし、迅速に路面等の危険箇所の対応に務めています。

また、今回3年目となりますが、昨年に引き続き9月10日(月)から10月2日(火)までの期間、組合員全員がパトロール業務に参加し、市内インフラ施設の整備状況と老朽化の現状の把握に務めていただきました。

参考までに平成29年度の業務実績は路面穴埋め820箇所、路面剥離箇所補修5,479箇所、側溝の清掃171箇所、側溝蓋騒音防止等397枚、草刈り除草・街路樹剪定 89路線となっております。

さらに、カーブミラー等調整は年間を通じて61枚でしたが、昨年においては、大型台風の影響を受け10月の1ヶ月で39枚の調整作業を行っており、風台風の猛威を思い知らされた結果となりました。



花壇づくりコンクール奨励賞の受賞

第28回花壇づくりコンクールに参加し、企業の部で奨励賞をいただきました。これは、富士宮市緑化推進市民の会が主催で、「緑の募金」の交付金を基に、地域における緑化意識の高揚

と、花と緑あふれる住みよい生活環境づくりの推進を目的に開催されるもので、初めての参加で奨励賞を受賞し、喜び以上に賞の重みを感じています。今後の励みとなりますように日々精進です。



第27回宮おどり・うちわ製作

8月5日盛大に行われた「第27回宮おどり」で使用されたうちわ2種類1000本を製作しました。建設重機のイラストを入れたデザインを取り入れましたが、宮おどりに参加した小学生や中学生の中から、将来の建設業の担い手となる方が誕生してくれることを心待ちにしています。



女性部「せせらぎ広場」花壇

10月2日に花植えをし、11月2日に草取りの手入れをし、12月11日には解体となりましたが、とても評判が良かったようで嬉しい声が次々と届いています。お忙しい中ご参加いただいた組合員の皆様には心より感謝いたします。



義援金の寄託

平成30年9月10日(月)、9月6日午前3時7分に発生しました「北海道胆振東部地震」に対し、義援金として100万円を寄託しました。当日は、日本赤十字社の義援金窓口が開設されておらず、目録のみの贈呈となりましたが、口座が開設された9月12日に義援金をお送りしました。

厚真町では震度7が観測され、大規模な土砂崩れや家屋の倒壊、道路の寸断や液状化等々、41名の尊い命が奪われました。10月5日現在で、負傷者691人(重症17人・軽傷674人)、住家の全壊394棟・半壊1016棟・一部破損7555棟という大きな爪痕を残し、多くの被災者を出しました。心よりお見舞いを



申し上げますとともに、1日も早い復旧そして日常生活に戻れるよう祈っています。



富士宮建設業協同組合役員および組合員名

【役員】

相談役 株森下建設 森下孝一	理事 株小松建設 小松 實	副理事長 株鈴木組 鈴木源士	理事 株大石組 清 哲也	理事 株井出恒組 井出定雄	理事 株佐野藤建設 後藤元光	理事 株坪井土建 坪井光雄	理事 株丸進建設 塩川 進	理事 株三与建設 三尾祐一	理事 株山本組 山本 篤	理事 株渡邊建設 渡邊定賢	理事 株坪井組 坪井孝文	理事 株宮鉄建設 遠藤秋芳	理事 株旭建設 石川哲也	理事 株イシカワ 石川 亨	理事 株井出恒組 井出定雄	理事 株永将建設 永田正二	理事 株大石組 清 哲也	理事 株権工務店 佐野郁男	理事 株加瀬澤組 加瀬澤 理	理事 株川俣組 佐野 孝	理事 株河原崎建設 河原崎鉄平	理事 株小松建設 小松 實	理事 株齊藤建設 齊藤宗一	理事 株佐野藤建設 後藤元光	理事 株鈴木組 鈴木源士	理事 株大栄建設 伊藤重治	理事 株拓進建設 佐野裕康	理事 株地成建設 望月敏雄	理事 株坪井組 坪井孝文	理事 株坪井土建 坪井光雄	理事 株宮原土木 寺原一美	理事 株光建業 佐野義光	理事 株丸進建設 塩川 進	理事 株三与建設 三尾祐一	理事 株宮鉄建設 遠藤秋芳	理事 株無双建設 加藤史郎	理事 株株森下建設 森下孝一	理事 株山本組 山本 篤	理事 株渡邊建設 渡邊定賢
----------------------	---------------------	----------------------	--------------------	---------------------	----------------------	---------------------	---------------------	---------------------	--------------------	---------------------	--------------------	---------------------	--------------------	---------------------	---------------------	---------------------	--------------------	---------------------	----------------------	--------------------	-----------------------	---------------------	---------------------	----------------------	--------------------	---------------------	---------------------	---------------------	--------------------	---------------------	---------------------	--------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	--------------------	---------------------

【組合員】

(アイウエオ順)
平成31年1月1日現在

株井出恒組 富士宮市元城町二二二四 井出定雄	株永将建設 富士宮市山宮一七一 永田正二	株大石組 富士宮市弓沢町六三五 清 哲也	株権工務店 富士宮市野中一〇〇三五 佐野郁男	株加瀬澤組 富士宮市中町五八五 加瀬澤 理	株川俣組 富士宮市下条二九八一 佐野 孝	株河原崎建設 富士宮市東阿幸地三三五 河原崎鉄平	株小松建設 富士宮市北山一九〇八 小松 實	株齊藤建設 富士宮市中里二四八九 齊藤宗一	株佐野藤建設 富士宮市上条一五四〇 後藤元光	株鈴木組 富士宮市小泉三六二六 鈴木源士	株大栄建設 富士宮市貴船町五一七 伊藤重治	株拓進建設 富士宮市下種子二〇四〇 佐野裕康	株地成建設 富士宮市長貫六七五二 望月敏雄	株坪井組 富士宮市野中町七四一 坪井孝文	株坪井土建 富士宮市青木二二八五一 坪井光雄	株宮原土木 富士宮市万野原新田三三三五四 寺原一美	株光建業 富士宮市下条一〇 佐野義光	株丸進建設 富士宮市神田川町一七七八 塩川 進	株三与建設 富士宮市中町一五〇 三尾祐一	株宮鉄建設 富士宮市淀平町八七〇 遠藤秋芳	株無双建設 富士宮市小泉三九〇一三 加藤史郎	株株森下建設 富士宮市小泉三九〇一 森下孝一	株山本組 富士宮市北町三一〇 山本 篤	株渡邊建設 富士宮市原九四二 渡邊定賢
------------------------------	----------------------------	----------------------------	------------------------------	-----------------------------	----------------------------	--------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------	----------------------------	-----------------------------	------------------------------	-----------------------------	----------------------------	------------------------------	---------------------------------	--------------------------	-------------------------------	----------------------------	-----------------------------	------------------------------	------------------------------	---------------------------	---------------------------

編集後記

事業・広報委員会委員
(株加瀬澤組)
加瀬澤 理

新年、明けましておめでとうございます。平成の時代も終わり、組合員の皆様におかれましては、時代に臨む新たな気持ちで新年を迎えられた事と思います。今年も広報建設ふじのみやの発行にあたり、ご多忙中にも拘らず、ご寄稿していただきました皆様、広告を出していただきました関係協力業者各位、また、組合員の方々の多方面に渡るご協力には厚くお礼申し上げます。昨年度は、夏季の台風被害、又、9月の気候変動による豪雨災害が発生し、各所に甚大な被害をもたらしました。これらの事象を踏まえ、国交省も、本年度は、決壊を避らす堤防の構造上の工夫等を検討し、又、上流の砂防施設と下流の河川遊砂地の一体整備等の提案を行う様であります。一方で、我々の身近な問題として、ここ数年で叫ばれている「人手不足」、県建協の業況調査アンケートにも6割以上の業者が作業従事者不足を訴えています。若年層の担い手確保・育成と魅力ある職場づくり等、問題は山積みしておりますが、1つ1つ組合員の自助努力と、相互の情報交換を重ね、解決の糸口を見付けねばなりません。組合訓の「信頼・協調・誠実」をより重視し、今年1年邁進していきましょう。本年もよろしくお祈り致します。

